

－ 令和6年度 第15回「議会報告会」の開催状況の報告 －

【 甘利 】地区

■報告会期日： 令和6年8月25日(日)

■開催場所： 龍岡公民館

■参加者：	<u>旭</u> 地区…	(男)	<u>17</u> 人	(女)	<u>      </u> 人	小計	17 人
	<u>大 草</u> 地区…	(男)	<u>9</u> 人	(女)	<u>      </u> 人	小計	9 人
	<u>龍 岡</u> 地区…	(男)	<u>21</u> 人	(女)	<u>      </u> 人	小計	21 人
	<u>      </u> 地区…	(男)	<u>      </u> 人	(女)	<u>      </u> 人	小計	人
	<u>その他</u> …	(男)	<u>2</u> 人	(女)	<u>      </u> 人	小計	2 人
	合計	(男)	49 人	(女)	人		49 人

# — 令和6年度 第15回議会報告会 —

## 議会報告会「甘利地区」地区テーマ

### 1.交通安全対策について

#### ①市道（旭）25号線と主要地方道葦崎・南アルプス・中央線への信号機設置について

県では、葦崎市と南アルプス市を結ぶ旭・有野バイパスの事業を進めているところであります。この計画のなかで、葦崎市内のルートについて、現在検討しているところであり、市道（旭）25号線と主要地方道葦崎・南アルプス・中央線の交差点につきましても事業との関わりがあり、今後の動向によるところであります。

#### ②県道甘利山公園線若尾地内の警戒標識設置について

県道甘利山公園線、県道北原下條南割線、及び市道（旭）2号線の交差点につきましては、県道北原下條南割線、市道（旭）2号線に、一時停止の規制がかかっています。また、県道甘利山公園線の西側から下り交差点に進入する車に対しては、速度減速の路面標示、「交差点注意」の注意喚起の看板の設置、並びにカーブミラーの設置により、ドライバーへの交差点進入する際の注意喚起が行われています。

その他、交差点を横断する人の安全確保のため、押ボタン式の信号機が設置されたところであります。

交差点形状の警戒標識の新たな設置につきましては、既に、注意喚起等の安全対策を実施しているところでありますので、今後、状況により改善等が必要であれば県と協議してまいります。

#### ③市道（龍岡）78号線の注意喚起標識の設置について

この路線は通学路となっており、道路沿いには、通学路の周知、子供の飛び出しに関する注意喚起の看板が何か所か設置されていますが、字が消えていたり、変形してしまっている状況であります。

この案件につきましては、7月に行われた、「葦崎市通学路安全推進会議」において検討され、今後、不備のある注意喚起標識は、順次取り替えを進めることとなりました。

## 2. 鳥獣害対策について

### ①電気柵関係

市の山沿いに電気柵を設置し、鳥獣の侵入を防いでいます。

(1)山沿いの電気柵の設置 総延長 5,767m（令和 6 年現在）

(2)電気柵管理用除草剤及び※1 ヤマビル対策用品の配布（毎年）

(3)新規電気柵の設置（適宜）（県補助 50%※2 市補助 40%地区 10%）

地区名	電柵延長（m）	除草剤配布量（ℓ）	備考
山口	1,520	13	
小曾根	545	5	
鍛冶屋	545	5	
山寺	677	6	
竹の内	554	5	R5 年度に一部改修
久保	525	5	
湯舟	1,401	12	

※1 令和 6 年度より 30%→40%に改正

※2 ヤマビル対策用品については令和 6 年度より配布（各地区 2 本）



（参考:竹の内の電柵改修写真）

## ②捕獲関係

甘利地区には峡北猟友会南分会があり、21名の会員がいます。

鳥獣被害対策実施隊活動や、特定鳥獣管理捕獲（シカ・イノシシ・サル）を行っています。

これ以外にも市内の農地を守るために、市内全域に対し、有害鳥獣駆除業務委託として、中型哺乳類（ハクビシン・タヌキ・アナグマ・アライグマ）を対象とした業務委託を行っています。

また、令和4年度にはアライグマの被害を確認するため寺社仏閣調査を市内全域に対して実施しました。

(1)鳥獣被害対策実施隊活動として追い払いや有害捕獲を実施。

令和5年度実績 13回

うち南分会 2回

(2)特定鳥獣管理捕獲実績

令和5年度

市内全体

シカ 420頭・イノシシ 50頭・サル 220頭 合計 690頭

うち南分会

シカ 165頭・イノシシ 2頭・サル 106頭 合計 273頭

(3)有害鳥獣駆除業務委託実績

のべ合計件数 31回

（内訳）

わな設置及び管理説明 12回

止めさし及び捕獲個体回収管理 14回

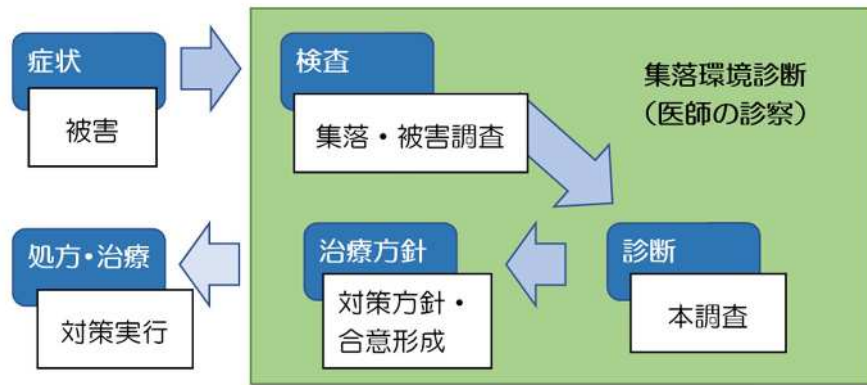
錯誤捕獲対応及びわな再設置 5回

## ③その他

### ・集落環境診断の実施

「集落環境診断」とは

今後の被害の発生・拡大防止に向けて、特に農作物被害の多い集落に、外部専門家による「集落環境診断」を導入し、集落単位での総合的な鳥獣被害対策について、現地の被害状況の把握や被害原因の分析から、対策の立案、対策の効果検証までの一連の取り組みです。



電気柵の設置や有害鳥獣捕獲だけでは、農作物被害の拡大を防げないことから、「集落環境診断」を実施し、地域ぐるみでの自発的な取り組みが展開され、地域における鳥獣対策の取り組みを支援するものです。

毎年1地区（集落）を目途に実施しており、平成29年度に旭町湯舟集落で実施。

#### ・甘利山関係

2012年よりシカによる高山植物の食害や希少植物の保護を目的として、NPO法人甘利山倶楽部（以下甘利山倶楽部）と市の商工観光課が連携し、甘利山に植生保護エリアとしてシカ柵を設置。

それ以降甘利山倶楽部を中心に、市と連携する中で延長を実施。

植生保護エリア（令和5年度末時点）

21カ所

総面積 11,221 m<sup>2</sup>

シカ柵の長さ 1,750 m

#### 今後について

電気柵関係については、昨年度検討を重ね、今年度より見直しを図り、地域の負担の軽減や、ヤマビル対策用品の配布を実施した。

これらの事業はもちろんのこと、集落環境診断をさらに実施し、地域の実情に合わせた鳥獣害対策の対策を検討していく。

### 3. 災害時における避難所対応について

令和6年1月1日、能登半島地震が発生し、大きな被害をもたらすと同時に、市民と共に職員も被災者となり、支援活動が思うように進まない現状がありました。いつどこで起きてもおかしくない災害に対し、改めて支援体制について、市の対応を確認するものです。

#### 地震（突発性災害）

【市の対応】緊急地震速報 災害対策本部開設（職員）、福祉避難所開設（職員）

【地区民の対応】避難所解錠・開設（住民）

#### 大雨（警告性災害）

【市の対応】

- ①水防本部設置（職員）福祉避難所開設（職員）②警戒レベル3高齢者等避難（防災無線・防災ナビ）避難所開設（職員）対策本部設置  
③警戒レベル4避難指示 警戒レベル5 緊急安全確保

【地区民の対応】①避難準備情報が出た直後、要配慮者または避難行動要支援者を優先避難 ②その他の地区民は避難の準備 ③避難指示が出た場合、直ちに指定避難所に避難

#### ◆避難所の収容人数と想定している配置職員数

避難所名	土砂災害・洪水時			地震時		
	収容人数		職員	収容人数		職員
	① 感染症 対策前	② 感染症 対策後	令和6年度 警戒本部体制	① 感染症 対策前	② 感染症 対策後	令和6年度 災害対策本部
旭公民館				73	14	1～2
旭屋内運動場	199	41	3	199	41	1～2
みだい体育センター				465	118	1～2
甘利小学校	776	155	5	776	155	1～2
大草公民館	60	14	3	60	14	1～2
甘利児童センター	77	15	(3)	77	15	1～2
葦崎工業高校				483	129	1～2
竜岡公民館	61	14	4	61	14	1～2
竜岡体育館	202	52	(4)	202	52	1～2
エコパークたつおか コミュニティセンター				66	14	1～2
小 計	1,375	291		2,462	566	

①感染症対策後は、ソーシャルディスタンスを考慮して設定

②配置職員数は、水害時避難所開設時に割り当てる想定職員数

◆指定避難所の備蓄状況

避難所名			甘利小学校	旭公民館	旭屋内運動場	みだい体育センター	大草公民館	甘利児童センター	葦崎工業高校	竜岡公民館	竜岡体育館	エコパニテクたつおかセンター	小計
配送拠点			◎										
最大	収容人数	(地震)	776	73	199	465	60	77	483	61	202	66	2,462
	割合		31.5%	3.0%	8.1%	18.9%	2.4%	3.1%	19.6%	2.5%	8.2%	2.7%	100.0%
想定	避難者数		39	4	10	23	3	4	24	3	10	3	123
	3日間		349	33	89	209	27	35	217	27	91	30	1,107
備蓄食料	(1箱50食入) アルファ米	対象者	40	5	10	30	4	6	30	4	10	5	144
		箱	7	1	2	5	1	1	5	1	2	1	26
		食	360	45	90	270	36	54	270	36	90	45	1,296
	15箱60袋/1日 (1箱60食入) 保存用クッキー	対象者	60	40	20	20	20	20	20	20	20	20	260
		箱	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	13
		個食	180	120	60	60	60	60	60	60	60	60	780
	缶詰パン	対象者	5	0	5	5	5	0	5	5	5	5	40
		個食	45	0	45	45	45	0	45	45	45	45	360
	(500ml) 飲料水	対象者	64	8	19	37	8	8	37	5	16	5	207
		箱	24	3	7	14	3	3	14	2	6	2	78
		本	576	72	168	336	72	72	336	48	144	48	1,872
	備蓄想定人数		105	45	35	55	29	26	55	29	35	30	444
非常用トイレ			12	1	1	1	1	1	0	1	1	0	19

## 【能登半島地震を教訓とした検討事項】

### 1. 飲料水、生活水の断水時の対応

- ◇飲料水の確保：給水方法、避難所への水槽配備
- ◇生活水の確保：災害時登録井戸登録件数の拡大、給水手段
- ◇トイレの確保と管理：水のいないトイレの避難所配備、トイレ組立、使用方法の周知

### 2. 女性や子どものいる世帯へのきめ細かな対応

- ◇ニーズにあった備品の確保：生理用品やおむつなどの備蓄
- ◇避難者の特性に応じた対応：避難所としての民間施設の活用

### 3. 備蓄計画の見直し

- ◇備蓄品目の充実：保存年限が長い備蓄食糧の調達、備蓄資機材の充実
- ◇備蓄倉庫や配送拠点：民間事業者倉庫の活用、配送業者との協定、コンビニ・ドラッグストアとの協定



No.	町名	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
①	龍岡町	(災害時における避難所対応について) 避難所と備蓄品については各避難所に保管されているのか。	備品は甘利小学校に保管されているので、各避難所は甘利小学校に持ちに行くことになる。
②		避難所として民間施設の活用とあるが、どこの施設か。	旧龍岡保育園にある施設(葦南福祉会)であります。
③		各施設にトイレがいくつあるのか、一覧表に記入してはどうか。	担当課に要望します。  (総務課の見解) 資料P7◆指定避難所の備蓄状況に「トイレ備蓄数」を追加記入しました。
④		(交通安全対策について) 主要地方道葦崎・南アルプス・中央線と、市道旭25号線交差点への信号機設置については、県事業の目途がたたなければ出来ないということか。	信号機の設置については、旭バイパス計画と併せてということになるが、期間が長くなるので当面はミラーを設置することが先決と思う。
⑤		(鳥獣害対策について) 龍岡町のサンステージ付近でサルが目撃された、猟友会21名の対応では大変と思うが、猟友会以外にも麻醉銃を打つことが出来ないのか、検討してほしい。	皆様のお知恵をお借りして、行政に対応して頂く方法しかないと思います。甘利地区の議会報告会におきまして、これまでに何回となく鳥獣害対策がテーマとなっておりましたが、行政としても良策がないのが現状であり、旭地区においては諦めもあるのではないかと思います。麻醉銃の狩猟免許については、行政に伝える。  (農政課の見解) 麻醉銃の使用は、追い払いやワナなどを使って捕獲するよりも、迅速かつ確実に捕獲作業を実施できるという利点がありますが、以下のとおり ・作業者は麻醉銃の所持許可と麻醉薬の使用許可等を得ており、麻醉銃猟の技術や実績が豊富であること ・捕獲のための許可申請が必要であること ・地域住民や関係機関への説明・周知を実施すること といった様々な条件や過程を踏まえる必要があります、あくまで規制のもと使用することが出来る機器であるため、今後十分調査・研究したうえで、検討してまいります。

No.	町名	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
⑥	旭町	<p>(鳥獣害対策について)</p> <p>ニホンザルが大公寺山には200匹～300匹の群れがおり、山の中に食べ物がないこともあり、徳島堰より下に多く見られるようになっており、状況は悪化していてあきらめでは済まされる問題ではない。</p> <p>サルは人を識別し、住民生活を脅かしており、早期の対策が必要である。</p> <p>電気柵はあくまでも水際対策であり、サルが里に来ない方法を考えなくてはだめだと思う、問題解決として、森林環境税を有効利用し、対応策を考えてください。</p> <p>葦崎市が行っているのは管理捕獲であり限りがある。有害鳥獣であれば捕獲数に制限がないはずである。サルの追い払いには学識経験者の知恵を借り、サルの嫌いなものはなにか、組み合わせることで行うことにより、多少の解決がされると思う。</p> <p>長年の懸案ですませないで、議員の皆様には対応を願いたい。</p>	<p>行政としても被害を最小限に抑える対策が必要だと思う。行政に早急な対策を要望していく。</p> <p><b>(農政課の見解)</b></p> <p>現在、鳥獣害対策としての1つとして電気柵付近の緩衝帯整備を森林環境譲与税を利用し、行っております。整備の内容として、電気柵付近の立木を5～20m程伐採することにより、サルの柵越えを防ぐことを目的とします。この整備を行うにあたり、森林所有者の同意の取得等が必要となり、地域にご協力をいただく必要がありますので、実施する際はご相談ください。</p> <p>また、集落単位での総合的な鳥獣害対策として、地域の被害状況の把握や被害原因の分析から、対策の立案、対策の効果検証まで一連の取組みを行う集落環境診断を各地域で継続的に実施しております。</p> <p>鳥獣害対策は、市や専門業者、猟友会や地域住民の方との連携が必要不可欠であると考えますので、今後もそれぞれの実情にあった対策を検討してまいります。</p>
⑦		<p>(委員会報告)</p> <p>文教厚生常任委員会の報告の中で、請願について35人学級とあるが、25人の間違いではないか。</p>	<p>山梨県及び葦崎市においては、25人学級が進んでいるが、全国的には35人学級が進んでいないため、国に対して請願をするものであります。</p>
⑧		<p>避難所について、鍵は地区で開けるとあるが、誰が鍵を持っているの判らない。</p>	<p>市としましては、施設利用容認書を各地区長さんに配布しており、その中に各施設の鍵の所有者が記載してあることですので、確認願います。</p>
⑨		<p>(鳥獣害対策について)</p> <p>サルについて、若尾新田から坂の上までの間で、特に羽根坂については小学生の通学路になっており、以前からサルには気を付けるようにいつてはいるが、サルが人を襲うことも考えられるので、市が早急に対応するように要望します。</p>	<p>市に要望します。</p> <p><b>(農政課の見解)</b></p> <p>通学路となっている羽根坂のサルの対策につきましては、農業被害も含め、地域から連絡があった場合に対応しているところであります。今年度につきましても、サルの出没について連絡があったので、捕獲用の檻を設置し、教育委員会を通して甘利小学校へ設置場所の情報共有を行ったところであります。</p> <p>また、地域おこし協力隊によるサルの行動調査も実施しておりますので、今後も地元猟友会と連携して、効率的な鳥獣害対策ができるよう努めてまいります。</p>

No.	町名	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
⑩	龍岡町	御勅使工業団地入口交差点への横断歩道の設置、並びにサンドラッグから青竹食堂までの歩道の設置について、管理者は県なので長期間になると思うが、是非設置出来るように要望します。	道路管理者は県である。利用頻度を考えると難しいと思うが、市を通して県に要望してまいります。
⑪		避難所について、子育て世帯に限定して現在建設中の新体育館に、仮設住宅が出来るまでの間でよいと思うので、女性だけが利用できる避難所の検討をしてほしい。他市に対して韮崎市の子育て政策に力を入れていることが、伝わると思う。	新体育館も避難所となっておりますので、市に要望してまいります。  <u>(総務課の見解)</u> 「女性に限定」した避難所ではありますが、女性等からの配慮が求められる点で、ご意見として頂戴いたしますが、市営体育館につきましては、支援物資の集積機能と避難所機能を併せ持つ施設となる予定でありますので、今後、検討するうえで参考とさせていただきます。
⑫	旭町	人口減対策について、韮崎市が消滅可能性自治体といわれているが、周りの自治体から見ると地盤沈下が懸念される。工場の誘致は進んでいるが、通って来るのは市外が多い、流動人口に比べて住宅政策が遅れている。土地はあるのに今後どうしていくのか。	ご指摘の通り、働く場はあっても住むところはないと思っております。10年後も消滅可能性自治体とならないよう、議会と行政が一体となって考えてまいります。
⑬		甘利地区は、インフラ以外に地域地域活性化対策が遅れているので、住宅も含め公共施設の導入を、地域性を生かした対策をとってほしい。地域振興のためにも公共投資をして、若い人に遡及するような事を考えてほしい。議会として住宅政策の必要性を考えてほしい。	地域の声を十分に拝聴するなかで、行政に提言してまいります。  <u>(財務政策課の見解)</u> 総合計画のまちづくり指針等に基づき、住宅を含め、地域振興の施策につきまして、いただいたご意見などを踏まえ、検討してまいります。